

更に活力ある学校・家庭・地域をめざした取組へ

～「ふるさと下関協育ネット『ほっちゃや』」の取組～

【下関市 長府中学校区】

地域の概要

長府中学校区には、仲哀天皇の行宮である「豊浦宮」の跡とされる「忌宮神社」、長府毛利藩の居城であった「串崎城跡」や高杉晋作が挙兵したいわゆる「回天義挙」の地「功山寺」などがあり、城下町としての面影を残しています。一方、海岸沿いには工場が立ち並び、近代的な要素もあります。

校区は広く、バスを利用して通学する小学生もいます。

人口	17,611 人	
世帯数	8,081 世帯	
対象校及び 児童生徒数	長府中学校	487 人
	豊浦小学校	944 人

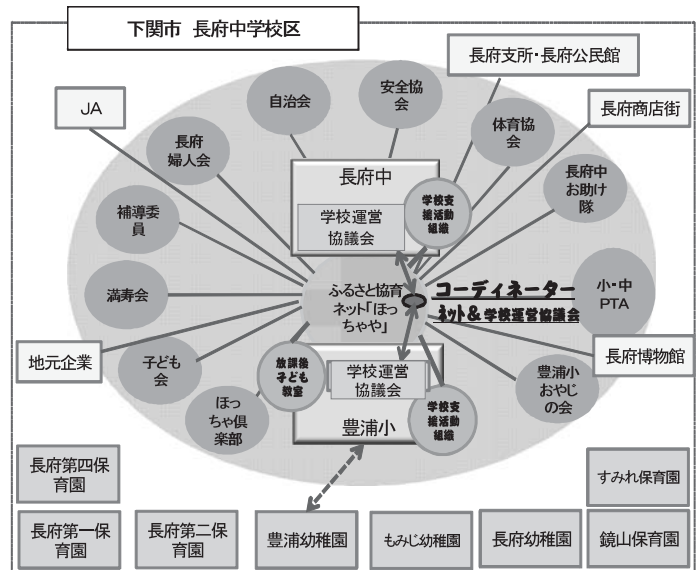
組織の内容

長府中学校区では、地域の方が小・中学校を支援するため、平成 20 年度に、長府地区学校支援地域本部事業に取り組み、「ほっちゃや」を活動拠点として設置しました。平成 23 年度からは、市の事業名が「ふるさと下関協育ネット事業」に変更されたことに伴い、「長府地区ふるさと協育ネット『ほっちゃや』」として活動を継続しています。

「ほっちゃや」では、活動の推進母体として地域教育協議会を設け、年 3 回協議会を開催しています。平成 24 年度から両校がコミュニティ・スクールに移行したことにより、学校運営協議会と連携し、学校応援団の担い手として、支援活動の計画立案や新たな活動の提案をしています。

これまで長府中学校と豊浦小学校に対する支援が確実に定着しており、新たな地域との連携による活動も始まるなど成長を続けています。平成 22 年度から水曜日の放課後に小学生を対象として放課後支援を実施している「ほっちゃや広場」では、地元の高校生もボランティアとして参加しており、新たな連携が取れるようになってきました。

また、地域の各団体が積極的に子ども向けのイベントを開催したり、大人の演奏家を交えて子どもたちが出演するコンサートを開催したりするなど、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む体制が整ってきています。その他、学校と地域の双方向の取組、幼保・小・中間での取組、長府地域の他の小・中・高を交えての取組や学校と地域が協働した取組が行われるまでになりました。加えて、長府中学校の生徒が地域行事に協力したり、長府中学校の保護者とそのOB・OGの有志によるボランティア団体「長府中おたすけ隊」と豊浦小学校の保護者と教職員の有志で構成されている「豊浦小おやじの会」が、地域の清掃活動やイベントの手伝いなどに積極的に参加したりするなど、地域の活性化に一役買っています。



地域教育協議会の構成	学校関係者	9 人
	地域団体関係者	10 人
	P T A 関係者	2 人
	自治体関係者	1 人
コーディネーター数		3 人
登録ボランティア数		315 人

特色・重点的な取組

「ほっちゃや」の取組として夏休みに長府庭園で行われた「Inspire Japan 2014 山口プログラム下関モデル事業（世界スカウトジャンボリーイベント）」には、小・中学校をはじめ P T A や地域の方、地元の高校にも積極的に参加していただき、無事に終えることができました。また、長府中学校での「避難所生活体験」には小学生、中学生の他、地域の方たちも参加し、自分たちでできる防災について考える機会となりました。これらの取組を通して、小・中・高の連携、学校と地域との連携が広がり、より強固なものになっています。

また、「ほっちゃや」による漢字検定は長府中学校での実施に加えて豊浦小学校でも始まり、バザーの開催などと合わせて、自主財源確保の取組も軌道に乗ってきています。

主な活動の紹介

○学習支援



夏休み「真夏の勉強会」

○学習支援&安全支援



ふるさと探検学習

○安全支援



新入児の下校指導

※その他、クラブ活動支援や絵本の読み聞かせ、人形劇、参観日放課後支援を行っています。
両校のPTA主催バザーや校内整備作業にも、地域のボランティアが多数参加しました。

○環境整備



緑のカーテンづくり

○他機関（JA長府）との連携



サツマイモの栽培

○放課後子ども支援



ほっちゃ広場（水曜 15:00~16:30）

○小・中の連携と学校・地域の連携



「避難所生活体験」（長府中）

○地域行事への参加



「長府レトロ祭」（豊浦小金管クラブ）

○自主財源確保の活動



「漢字検定」（豊浦小）

成果と課題

6年間の支援活動の成果が確実に定着しています。地域の方々と学校や子どもたちとのかかわりが密になることで、地域における子どもたちを交えた自主的な取組がより活発になってきています。また、子どもたちも自ら進んで地域とのかかわりをもつようになってきています。今後の課題としては、事業の安定的継続のために協議会において知恵を出し合い、より良い方策を考えることです。



「ほっちゃや」のロゴマーク

今後の取組

子どもが育つ場である学校・家庭・地域を一層元気で活力のあるものにしていくためにも、今後は、学校と地域がそれぞれの思いを共有し、積極的に協働していくことが重要になります。そのために、「ほっちゃや」はこれまでの活動の着実な継続に加えて、学校と地域のスムーズな連携や取組のためのパイプ役としても積極的に活動していきたいと考えています。